

学校教育目標

ふるさと竹山で、子どもたちが人とかかわりながら、じりつ(自律・自立)する学校
 ～失敗OKの学校から社会や未来を切り拓く子どもたちが育っていく～

めざす子どもの姿

- ◆人とかかわりながら、自分(たち)で自分(たち)の学びを深める子(自律)
- ◆自分のよさに気づき、自分も相手も大切にできる子(自立)
- ◆ふるさと竹山の「ひと・もの・こと」や身近な疑問や課題から学べる子

めざす子どもの姿を実現するための方策

- **学びを変えるプロジェクト** ⇔ 人とかかわりながら、自分(たち)で自分(たち)の学びを深める子
 - ・主体的・対話的で深い学びのある授業の創造
 - ・協働的な学び×個別最適な学び×ICT
 - ・自ら学ぶ力を育む学習の取組(子どもに委ねる教師の意識改革・児童進行型授業・自由進度学習)
 - ・自己調整力と粘り強さなどの育成を図る支援の在り方の研究
 - ・低学年スタートカリキュラムの継続・発展
- **誰一人取り残さないプロジェクト** ⇔ 自分のよさに気づき、自分も相手も大切にできる子
 - ・朝の運動による運動機能の向上と心の安定
 - ・違いや多様性を尊重する人権教育の推進
 - ・特別支援教育の視点をすべての学級で展開
 - ・様々なバックグラウンドを持つ人たちから学ぶ体験学習(人権・同和教育、福祉体験)
 - ・自己肯定感の高揚、自分のよさ・友だちのよさに気づく取組
 - ・年間を通じた縦割り遊び・縦割り掃除。子どもたちとともに創る児童会・学級会活動
 - ・子ども園、中学校と連携した取組
(1年生との交流・5歳児5年生連携、トライやるウィークや出前授業・交流によるキャリア形成)
- **地域・家庭と一緒にプロジェクト** ⇔ ふるさと竹山の「ひと・もの・こと」や身近な疑問や課題から学べる子
 - ・基本的な生活習慣の定着に向け家庭と連携した取組
 - ・竹山学(生活科・総合的な学習の時間)を核とした地域と連携した学習
 - ・CSを活用した両地域の教育資源(ひと・もの・こと)の効果的な活用と学校参画の推進
 - ・通所支援事業所との連携による子どもの育ちや支援の在り方の共有
 - ・HPや学校だより、通信等による積極的な情報発信
 - ・学校行事、オープンスクール、授業参観などの積極的な公開
 - ・地域・家庭とめざす子ども像を共有し全員が当事者となる取組

めざす子どもの姿を実現するための教職員の役割

- ◆子どもに寄り添い、子どもの可能性をみいだす教職員
- ◆心身ともに健康で、協働して新たなことへの挑戦や学校づくりを楽しめる教職員
- ◆家庭・地域をパートナーと認識し、児童の成長に向け主体的・組織的に取り組む教職員

保護者の役割(令和5年度合同学年懇談会のまとめより)

- ◆保護者同士や先生方と仲よくつながる
- ◆子どもたちの個性を尊重し、多様な考え方を認め合える
- ◆子どもの声を聞く・聴く。子どもの変化に気づける

地域の役割(令和5年度第2回運営協議会まとめより)

- ◆地域のよさや伝統を子どもたちに伝えたい
- ◆見守りだけでなく子どもたちや先生方を支援したい
- ◆地域の方々につながる企画を考えたい